

未来医療研究人材養成拠点形成事業 リサーチマインドを持った総合診療医の養成

本事業では、急速に進展する高齢化等に伴う医療課題の解決に貢献し、国内外の医学・医療の発展を強力に推進するため、医療のパラダイムシフトの契機を生み出しうる人材を養成する、新規性・独創性の高い特色ある取組にチャレンジする大学の事業を選定し支援します。

<テーマB:リサーチマインドを持った総合診療医の養成>

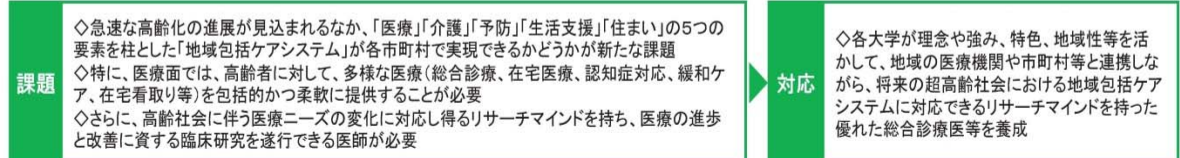
○ 今後、急速な高齢化の進展(2025年には65歳以上人口が3割を超える)が見込まれるなか、「医療」「介護」「予防」「生活支援」「住まい」の5つの要素を柱とした「地域包括ケアシステム」が各市町村で実現できるかどうか新たな課題となっております。

○ 特に、医療面では、複数の疾患や問題を抱えている高齢者に対して、効率的に多様な医療(総合診療、在宅医療、認知症対応、緩和ケア、在宅看取り等)を包括的かつ柔軟に提供するためには、臓器別・領域別ではなく、患者を幅広い視点で診ることができる総合的な診療能力を有するとともに、地域包括ケアシステムのなかで、多職種と連携してリーダーシップを発揮することのできる医師が求められています。

○ さらに、高齢社会に伴う医療ニーズの変化に対応し得るリサーチマインドを持ち、医療の進歩と改善に資する臨床研究を遂行できる医師が求められています。

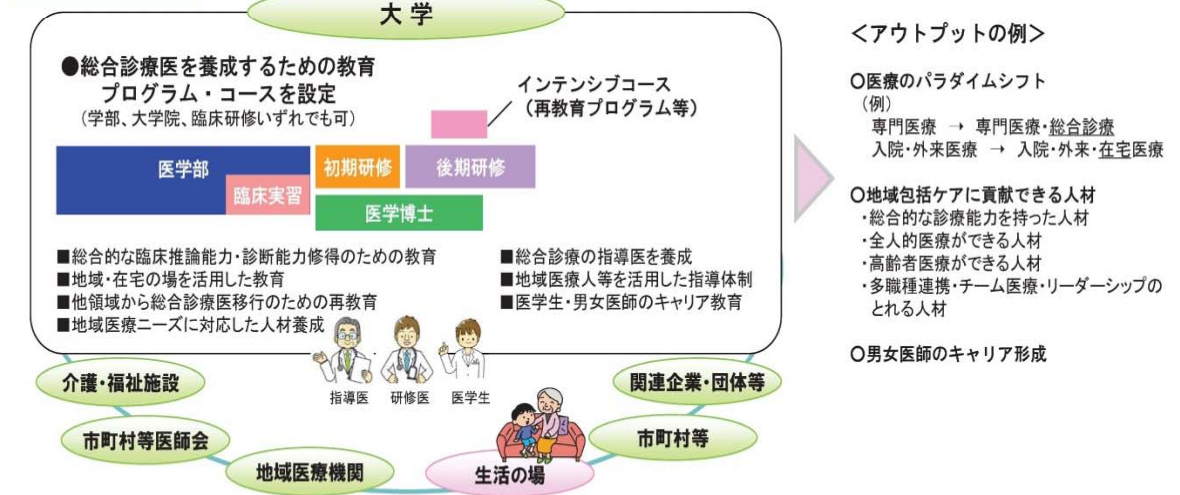
○ そのため、本事業では、国民が将来にわたって安心して医療を受けられる環境を構築するため、各大学が理念や強み、特色、地域性等を活かして、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できるリサーチマインドを持った優れた総合診療医等を養成することを目的とします。

リサーチマインドを持った総合診療医の養成



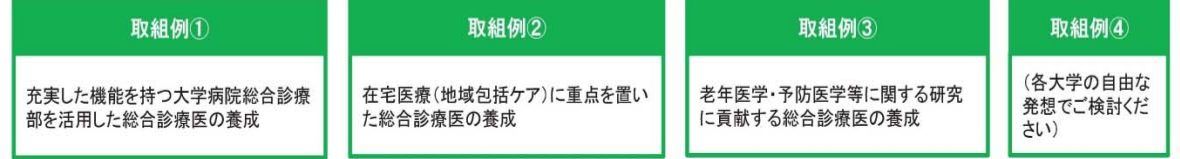
※「事業のイメージ図」はあくまでも例ですので、各大学の自由な発想で優れた事業計画を立案してください。

事業のイメージ図



<アウトプットの例>

- 医療のパラダイムシフト
(例)
専門医療 → 専門医療・総合診療
入院・外来医療 → 入院・外来・在宅医療
- 地域包括ケアに貢献できる人材
・総合的な診療能力を持った人材
・全人的医療ができる人材
・高齢者医療ができる人材
・多職種連携・チーム医療・リーダーシップのとれる人材
- 男女医師のキャリア形成



文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業 リサーチマインドを持った総合診療医の養成 合同公開フォーラム

2014年1月31日(金) 10:00~16:30
筑波大学東京キャンパス文京校舎



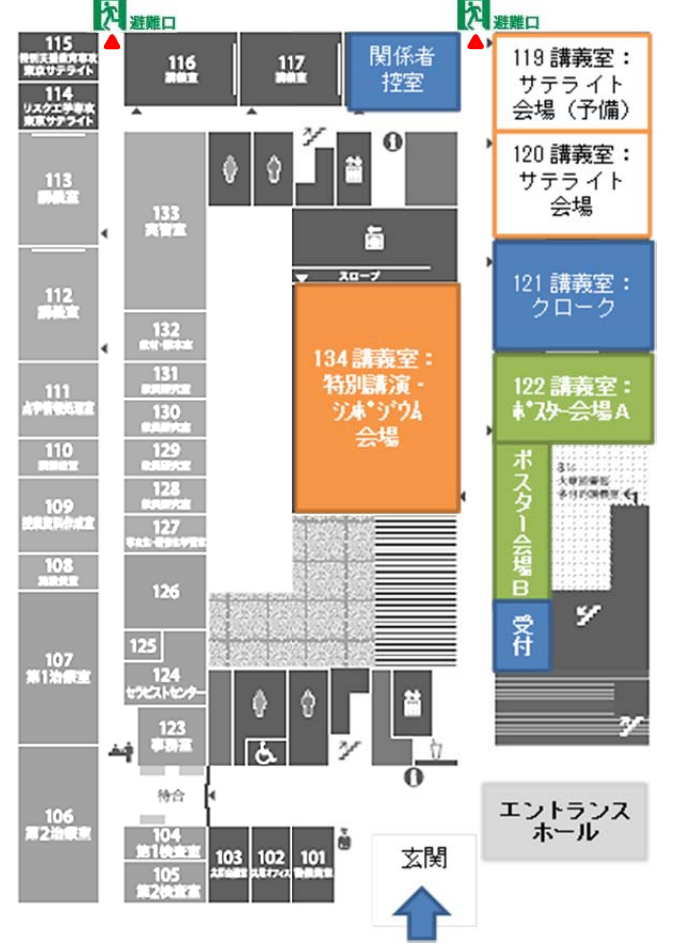
テーマ

大学の力を、地域医療の未来へ！～次世代の総合診療医養成を考える～

会場案内

- ・会場には、クロークを設置しております。ご利用の方は、直接クローク(121 講義室)までお越しください。
- ・特別講演ならびにシンポジウム会場(134 講義室)の入場状況によりましては、サテライト会場(119・120 講義室)にご案内する場合がございます。あらかじめご了承いただければと存じます。
- ・ポスターセッション参加拠点の皆さまは、受付でポスター掲示場所についてご確認ください。
- ・意見交換会(12:00~13:30)では、会場(122・134 講義室)に軽食をご用意いたします。昼食時間も含めまして、ごゆっくり意見交換をいただければと存じます。

<会場見取図>



プログラム

総合司会 堤 円香（筑波大学医学医療系地域医療教育学助教）

<第1部> 会場：134 講義室

10：00 主催者あいさつ 永田 恭介（筑波大学長）

来賓代表あいさつ 平子 哲夫（文部科学省高等教育局医学教育課企画官）

10：10～10：40 特別講演「未来医療研究人材養成拠点形成事業について」
手島 英雄（文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室長）

<第2部> A会場：122 講義室、B会場：1F 廊下（エントランスホール奥）

10：45～12：00 15 拠点の事業の紹介（ポスターセッション）

A会場

座長 濱野 淳（筑波大学附属病院総合診療グループ診療講師）

No.	申請担当大学名	連携大学名	事業名
A-1	東北大学		コンダクター型総合診療医の養成
A-2	筑波大学		次世代の地域医療を担うリーダーの養成
A-3	千葉大学		超高齢社会に対応する総合診療医養成事業 ～地域と大学でロールモデルを継続的に育てる仕組みを作る～
A-4	東京大学		新しい大学ー地域間連携での研究人材育成
A-5	新潟大学	新潟医療福祉大学、 新潟薬科大学	オール新潟による『次世代医療人』の養成
A-6	札幌医科大学		北の地域医療を支える総合診療医養成プラン
A-7	東京慈恵会医科大学		卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発 ～地域における臨床研究の推進を目指して～

B会場

座長 前野 貴美（筑波大学附属病院総合診療グループ講師）

No.	申請担当大学名	連携大学名	事業名
B-1	富山大学		地域包括ケアのためのアカデミックGP養成
B-2	三重大学		三重地域総合診療網の全国・世界発信
B-3	大阪大学		地域に生き世界に伸びる総合診療医養成事業 ～超高齢社会を切り拓くリーダー型高度医療人養成～
B-4	島根大学	神戸大学、 兵庫医科大学	地方と都会の大学連携ライフィノベーション
B-5	岡山大学		地域を支え地域を科学する総合診療医の育成
B-6	九州大学		地域包括医療に邁進する総合診療医育成 ～九州大学総合診療科を活用した総合的臨床と ヘルスサービスリサーチ教育プログラム～
B-7	長崎大学	長崎純心大学	つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築 ～人と人、場と場、ケアとリサーチをつなぐ総合診療医の養成～
B-8	名古屋市立大学	名古屋学院大学、 名古屋工業大学	地域と育む未来医療人「なごやかモデル」

12：00～13：30 意見交換会（会場：122・134 講義室）

昼 食

<第3部> 会場：134 講義室

13：30～16：20 シンポジウム「本事業に期待される役割と今後の展望」
シンポジスト講演とパネルディスカッション

座長：

丸山 泉（一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会理事長）

前野 哲博（筑波大学教授 附属病院総合診療グループ長／総合臨床教育センター部長）

シンポジスト（五十音順）：

大熊 由紀子（国際医療福祉大学大学院教授）

草場 鉄周（北海道家庭医療学センター理事長）

福井 次矢（聖路加国際病院院長／京都大学名誉教授）

前野 哲博（筑波大学教授 附属病院総合診療グループ長／総合臨床教育センター部長）

吉村 博邦（北里大学名誉教授／全国医学部長病院長会議顧問）

16：20～16：30 閉会あいさつ 五十嵐 徹也（筑波大学附属病院長）

